



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月26日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役経営戦略部担当 (氏名) 吉谷 敏 (TEL) 03-5318-0639
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	34,557	13.9	8,704	18.0	9,108	17.7	6,233	12.3
29年3月期第3四半期	30,339	16.0	7,377	21.9	7,739	21.8	5,551	36.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 6,920百万円(26.2%) 29年3月期第3四半期 5,484百万円(31.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	456.95	—
29年3月期第3四半期	406.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	74,698	56,695	75.9
29年3月期	65,978	51,549	78.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 56,695百万円 29年3月期 51,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 29年3月期期末配当金の内訳 特別配当100円を含んでおります。
 30年3月期の期末配当金の予想値につきましては、期初段階の数値を記載しております。
 30年3月期の期末配当金につきましては、P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 利益配分に関する基本方針」に基づき、連結業績等を勘案したうえで、別途検討する予定です。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	12.9	11,600	14.5	12,000	15.8	8,300	15.2	608.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	14,000,000株	29年3月期	14,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	358,039株	29年3月期	357,983株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	13,641,986株	29年3月期3Q	13,642,033株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループでは「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズといった主力作品による収益の安定・拡大を図るとともに、事業においては中国を中心とした映像配信権の販売に加え、国内外でアプリゲーム等ゲーム化権の販売に引き続き注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、国内外でアプリゲーム化権、海外で映像配信権の販売が好調に推移したことから、345億57百万円（前年同期比13.9%増）、利益については、収益性の高い著作権事業や海外映像販売事業が大幅増収となったこと等から、営業利益は87億4百万円（同18.0%増）、経常利益は91億8百万円（同17.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億33百万円（同12.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。

なお、セグメント損益は、営業利益ベースの数値であります。

①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に「映画プリキュアドリームスターズ!」、9月に「デジモンアドベンチャー tri. 第5章」、10月に「映画キラキラ☆プリキュアアラモード」を公開しました。前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のヒットに相当するものがなかったことから、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「キラキラ☆プリキュアアラモード」、「ドラゴンボール超」、「デジモンユニバース アプリモンスターズ」、「正解するカド」、「タイガーマスクW」の6作品を放映しました。放映本数は増えたものの、その他の映像製作やゲーム用音声製作が前年同期と比較して軟調に稼動したこと等から、減収となりました。

コンテンツ部門では、映像パッケージの販売が全体的に軟調に推移したものの、「美少女戦士セーラームーンCrystal」のブルーレイ・DVDの売上があったことから、若干の増収となりました。

海外映像部門では、中国向け大口映像配信権の販売が好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

その他部門では、アプリゲーム『聖闘士星矢 ギャラクシースピリッツ』が好調に稼動したものの、前年同期にあった国内での大口映像配信権契約の反動減から、ほぼ横ばいとなりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、売上高は124億25百万円（前年同期比3.5%増）となりましたが、前年同期にあった国内での大口映像配信権契約に相当するものがなかったこと等から、セグメント利益は21億42百万円（同29.1%減）と増収減益となりました。

②著作権事業

国内著作権部門では、アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』が前期より更に好調に稼動したことから、大幅な増収となりました。

海外著作権部門では、全世界でアプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』に加え、北米向け家庭用ゲーム『ドラゴンボール ゼノバース2』の販売も好調に推移したことから、大幅な増収となりました。

この結果、著作権事業全体では、売上高は177億75百万円（前年同期比39.1%増）、セグメント利益は83億77百万円（同41.5%増）と大幅な増収増益となりました。

③商品販売事業

商品販売部門では、前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のタイアップ・キャンペーンに相当するものがなく、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は37億62百万円（前年同期比19.4%減）、セグメント利益は1億60百万円（同14.8%減）と大幅な減収減益となりました。

④その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。前年同期にあった「聖闘士星矢」の催事関連に相当するものがなかったことに加え、「ワンピース」が前年同期に比べ軟調に推移したことから、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は7億38百万円（前年同期比31.0%減）、セグメント損失は82百万円（前年同期は、44百万円のセグメント利益）と大幅な減収減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年7月28日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(3) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様の利益確保を重要な経営目標の一つと考えており、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金につきましては、アニメーション業界のグローバル・リーディングカンパニーになるべく製作プロダクションとして製作体制の充実を図るとともに、成長が期待されるビジネス機会に積極的に投資いたします。

配当につきましては、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,591,245	27,828,128
受取手形及び売掛金	7,804,571	8,618,554
商品及び製品	243,375	483,305
仕掛品	1,443,861	1,382,435
原材料及び貯蔵品	69,952	42,484
その他	3,772,382	4,136,140
貸倒引当金	△16,281	△13,286
流動資産合計	38,909,108	42,477,762
固定資産		
有形固定資産	7,062,714	10,278,960
無形固定資産	339,392	437,025
投資その他の資産		
投資有価証券	10,928,727	12,288,098
その他	8,875,158	9,365,553
貸倒引当金	△136,525	△149,394
投資その他の資産合計	19,667,360	21,504,257
固定資産合計	27,069,467	32,220,243
資産合計	65,978,575	74,698,005
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,530,020	9,345,095
未払法人税等	2,259,753	1,527,698
賞与引当金	282,638	144,194
その他	2,420,897	4,619,100
流動負債合計	12,493,309	15,636,089
固定負債		
役員退職慰労引当金	118,930	136,520
退職給付に係る負債	1,417,474	1,503,468
その他	399,716	725,999
固定負債合計	1,936,121	2,365,988
負債合計	14,429,430	18,002,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	44,042,513	48,502,807
自己株式	△543,829	△544,318
株主資本合計	49,775,833	54,235,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,613,814	2,469,788
繰延ヘッジ損益	△6,793	847
為替換算調整勘定	166,289	△10,346
その他の包括利益累計額合計	1,773,311	2,460,289
純資産合計	51,549,144	56,695,928
負債純資産合計	65,978,575	74,698,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	30,339,017	34,557,061
売上原価	18,920,367	21,375,426
売上総利益	11,418,650	13,181,634
販売費及び一般管理費	4,040,704	4,477,409
営業利益	7,377,945	8,704,225
営業外収益		
受取利息	42,519	44,636
受取配当金	175,885	222,937
持分法による投資利益	67,197	18,037
為替差益	26,833	114,806
その他	59,808	59,455
営業外収益合計	372,245	459,873
営業外費用		
商品廃棄損	—	17,108
事務所移転費用	—	29,483
その他	10,589	8,993
営業外費用合計	10,589	55,586
経常利益	7,739,601	9,108,512
特別利益		
投資有価証券売却益	260,606	—
特別利益合計	260,606	—
特別損失		
減損損失	56,217	123,717
特別損失合計	56,217	123,717
税金等調整前四半期純利益	7,943,990	8,984,795
法人税、住民税及び事業税	2,545,596	2,686,035
法人税等調整額	△153,178	65,003
法人税等合計	2,392,417	2,751,038
四半期純利益	5,551,573	6,233,756
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,551,573	6,233,756

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	5,551,573	6,233,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	595,605	826,114
繰延ヘッジ損益	—	7,640
為替換算調整勘定	△692,402	△176,636
持分法適用会社に対する持分相当額	29,311	29,859
その他の包括利益合計	△67,484	686,978
四半期包括利益	5,484,089	6,920,734
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,484,089	6,920,734
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割及び定款の一部変更について)

当社は、平成30年1月26日開催の取締役会において、株式の分割及び定款の一部変更を行うことについて決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式分割により株式1株当たりの投資金額を引き下げ、株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成30年3月31日(土曜日)(実質的には平成30年3月30日(金曜日))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき、3株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	14,000,000株
今回の分割により増加する株式数	28,000,000株
株式分割後の発行済株式総数	42,000,000株
株式分割後の発行可能株式総数	168,000,000株

3. 株式分割の日程

基準日公告日	平成30年3月1日(木曜日)
基準日	平成30年3月31日(土曜日)(実質的には平成30年3月30日(金曜日))
効力発生日	平成30年4月1日(日曜日)

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	135円 65銭	152円 32銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。